



子ども連れ去り被害防止

～地域で考える防犯～

監修

立正大学文学部社会学科助教授（犯罪心理学）
社会学博士 小宮 信夫

上映時間 22分 [C# 2956]

ビデオ版 69,300円（本体66,000円）



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

昨今、子どもが被害者となる凶悪犯罪が多発している。身近なところでいつ起きるかもしれない連れ去り。しかし、犯罪を実行する機会がなければ事件は起こりません。子どもを守るために一番大切なことは、大人が協力して、犯罪の起きにくい環境をつくることです。地域の大人たちは、子どもを守るために何ができるのか考えます。

内容

毎日、当たり前のように見ていた子どもの笑顔。それが、ある日突然…。

全国各地で、子どもを連れ去りから守るための活動が始まっている。

○埼玉県和光市「地域子ども防犯ネット」

地域の母親が中心となって発足。警察、自治体などから参加者を募り、危険な場所を見回り、改善を進めている。「保護者だけでなく、色んな立場の人と協力することが大切」と事務局長の待鳥さん。

○東京都世田谷区「明大前ピースメーカーズ」

「街の安全は自分たちで守る」を合言葉に、地元の商店街振興組合が中心になって結成された。民間交番第1号を開設。地域のパトロールも行っている。

○東京都杉並区「和泉ピースプラスワン」

新泉小学校PTA野球部の有志10名が、夜のパトロールを始めたところ、仲間が増え、町ぐるみの活動に発展した。参加者の一人、最長老の久保田さんは、毎朝、子どもの登校を見守っている。

「親が子どもたちを守っていこうという意識が、街全体で強くなってきたと思う」と代表の斉藤さん。

○三重県四日市市

「別山安全なまちづくり推進委員会」

住民同士の繋がりが希薄な新興住宅地。

互いのライフスタイルを尊重しながら、生活のリズムを変えることなく、子どもを守る活動を行っている。効果を上げているのは、青色回転灯を搭載した自家用車によるパトロール。

また、同会ではインターネットの電子掲示板や月1回発行される会報で犯罪情報が共有されている。

この活動を始めてから、子どもたちが一人ではなく、みんなまで遊ぶようになった。

○東京都大田区「池上自主防犯パトロール隊・PSI」

PSIでは、週に一度、公園で手作りの紙芝居を披露。子どもたち自身の防犯意識を高めようと活動している。

また、犯罪社会学を学んでいる立正大学の学生を指南役に池上小学校の子どもたちが「地域安全マップ」づくりに取り組んだ。街を歩きながら、危険が潜む「入りやすい場所と見えにくい場所」をチェック。自ら大人にインタビューしたりして地図を作成した。地図の完成後、保護者などに発表。互いに防犯意識を高めあった。

【子どもを守るためには】

子どもを連れ去りから守る最善の方法は、犯罪の起こりやすい危険な場所に行かせない。まず、地域に潜んでいる危険を点検する。危険な場所は、犯罪者が入りやすく、周囲から見えにくい場所である。

住民同士の関係を強め、防犯に対する関心が地域で高まれば、危険な場所は減る。

犯罪の起きにくい環境をつくるためには、子どもたちの犯罪を回避する能力を高めること、親子のコミュニケーション、地域の連携が大切である。

プロデューサー・・・鎌田 幸人 監督・脚本・・・半谷 守廣
田野 稔

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2005年作品

d.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066

高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955